

# 横須賀の原子力空母



You tube 公開中

2008年9月から横須賀を母港とした原子力空母「ジョージ・ワシントン」は、燃料交換の為に15年5月に最後の出港をし、10月1日、交代の空母「ロナルド・レーガン」が横須賀に入港しました。

原子力空母は、熱出力60万KWの原子炉2基を搭載し、三浦半島活断層群のこの街に年間約200日間入港・停泊をしてきました。今後もその状態が長く続くと考えられます。



2015年10月1日(木) 早朝  
横須賀基地に入港する  
原子力空母「ロナルド・レーガン」



空母停泊地(12号バース)

京急汐入駅

半径3キロ域  
には、人口40万の横須賀市の  
中心部が広がる  
(3キロ圏内住民6万人以上)

京急 横須賀中央駅

## 安全確保に最低限必要な事項は守られているか？

- 1: 原子炉の情報は公開されているか？ → 原子炉出力や構造も未公表
- 2: 防災訓練は万全に行われているか？ → 日米で被害想定が異なり不十分  
米軍の主張は「基地外に被害は及ばない」vs 日本政府の見解は「市街地にも及ぶ」  
この二つの異なる規準により、米軍参加による市民の避難訓練は実施されていない。
- 3: 米軍が約束を守っているか？ → 日米合意違反の廃棄物搬出

原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会

〒238-0008 神奈川県横須賀市大滝町1-26 清水ビル3F 横須賀市民法律事務所方

電話 046(827)2713 FAX:046(827)2731 → <http://cvn.jpn.org/>